

2018年(平成30年)10月30日(火曜日)

三島駅南口  
再開発事業

## 次点業者が提案公表

### NPOの要請に応じる

三島市のJR三島駅南口東街区の再開発事業に問題提起する市民検討会が二十八日、同市南本町の市社会福祉会館であり、事業協力者の公募で次点だった「イオンタウン」(千葉市)が提案内容を説明した。

市の情報開示不足を指摘する地元NPO法人「グランドワーク」(GW)三

島)が企画し、約四十人が参加した。市は審査の採点と事業協力者に選んだ「アスマチ三島プロジェクト共同企業体」の提案のみ公表している。審査(百五十点満点)では一位のアスマチは百八点、イオンは百六点

だった。イオンは「市の決定を覆すためではなく、GW三島からの情報開示要請に応じるため」に出席した」としている。イオンの提案

は四階建て七千平方メートルの商業施設、高さ四四・五メートル五階建てのマンションなどを整備する。商業施設にはスパーや子育て支援施設、診療所、書店、飲食店を入居させる。総事業費は百二十億円で、市の負担は四十億円。同社の担当者は「交流・にぎわい拠点を創造する内容」と話した。

アスマチの提案は、高さ九九・五メートル、二十四階建ての高層マンションや四階建て三千平方メートルの商業施設などを建設する。総事業費は二百二十億円で、市の負担は六十一億円。GW三島は他の業者にも提案内容の説明を求めた方針。

(佐久間博康)



自社の提案を説明するイオンタウンの担当者(左)三島市南本町の市社会福祉会館で